

## ネパールの観光の魅力と今後、私の決意

### スベディ ラジェンドラ

ナマステ！「athiti devo vaba」皆さん、この言葉をごぞんじですか。これはネパールで昔から有名な言葉です。「お客様は神様です」という意味です。このスローガンは特に外国人を楽しませることを大切にしています。

ネパールは観光地の美しさもさることながら、特別な文化の国です。北海道の1,8倍の小さい国ですが、多言語、多文化の国です。125のカースト、123の言語もあるからです。それにカーストの一つ一つにも文化財があり、その文化にも特別な歌と踊りがあります。それは観光客にとって本当に珍しいことではないでしょうか。

ネパール人の私でも、旅行した時、本当に文化財と自然のすばらしさで予定をのばしたこともあります。ネパールでは多くの所で朝起きて窓を開けると、白い山が見えます。ご存じのとおり、エベレストの国ですが、8000メートル以上の山が8つもあり、そのほかにも非常に美しい山がたくさんあります。そして、みずうみに山のすがたがうつるけしきで有名なフェワはパラグライダーにもとても人気があります。皆さん、ぜひ自分の目でごらんになってください。

またネパールはお祭りの国ともいえます。宗教やカーストをもとにして観光客も参加できるいろいろな祭りがあります。ネパールで一番多い宗教は、ヒンデュー教で、ほかに仏教、イスラム教、キリスト教があります。祈りの町と言われるカトマンズには多くのお寺があり、1つの町に7つもユネスコ世界遺産に選ばれているお寺があるほどです。1分歩けばきれいなお寺が見えます。そしてネパールは全部の宗教を守っています。

しかしネパールは人材、天然資源が多いのに、発展が遅れています。そのことが気になって、大学院で地域開発をせんこうしました。観光で田舎の人を豊かにする方法をみつけたかったからです。私は4つの村の観光産業の研究をしました。国の発展と観光はみっせつな関係があります。観光客をよぶために、村の人々はどうかわるべきか、観光名所と文化的な魅力をどうやって世界に伝えるか、その答えを求めて私は来日しました。

人生が変わりました。日本で日本語や文化を学ぶ一方で、パンやお弁当やデザート工場やコンビニでアルバイトしました。日本人のまめまめしさにおどろきました。ネパールでは、五分遅れても問題ないけれども、日本では時間とルールを必ず守ることは経営にむすびつきます。ですから、日本の文化のみならず、日本の観光地のホテルに就職してぜひ日本人のおもてなしをみにつけたいと思います。そして日本で学んだこと、仕事へのしせいを忘れずに将来はネパールの観光ビジネスで母国の発展にこうけんしようとして心に決めました。ごせいちょうありがとうございました。